

企業理念を確立し 着実に法人化を目指す



デザイン★スタジオ いんすばいあ

多くの会社の企業活動には、名刺づくりからパンフレット、商品パッケージ、ホームページ制作、テレビCMまで、有能なデザイン事務所やデザイナーの出番が求められる場面が多い。それゆえにまた、デザイン事務所には競合も多い。同業他社との差別化を明確に打ち出せるか否かが、デザイン事務所の事業の成否を分ける。

兄弟でスキルを持ち寄って起業

昨年7月から秋田県庁第二庁舎の創業支援室にオフィスを構えるデザイン事務所「いんすばいあ」の代表斉藤武史(41歳)さんは、キャリア13年のグラフィックデザイナーである。秋田公立美術工芸短期大学を卒業後、仙台に本社のある中堅広告代理店の秋田事業所に勤務し、退社前は所長まで務めた。

実兄がプロのビデオカメラマンとして15年のキャリアを持っており、兄弟でお互いのスキルを持ち寄れば同業他社にはない守備範囲の広い事業展開が出来るのではないかと、独立して「いんすばいあ」を立ち上げた。

法人化より経営理念確立を優先

「最初から法人としてスタートすることも不可能ではなかったのですが、私は会社経営に関しては素人同

然だったので、まずしっかりとした経営理念を確立するのが先決だと思いました」(斉藤さん)

現在事務所に行っている創業支援室に入居していただけるのは最長で3年。その間に、事業活動をしながら経営術も学び、将来の法人化を目指す。いわば、今は会社づくりの“助走期間”といったところ。

現在「いんすばいあ」では、東北経済産業局の中小企業支援ネットワーク強化事業を利用して東京の企業理念確立コンサルタントの指導を受けている。月1回のペースでコンサルタントに会社してもらったり、斉藤さんのほうから上京してアドバイスを受けることもある。仕事との向き合い方、顧客への接し方、根本的な会社のあり方など、学ぶべきことがとても多いという。

「コラボレーション」がキーワード

「いんすばいあ」には大きな強みがある。グラフィックデザイナーである斉藤さんとプロビデオカメラマンの実兄斉藤清孝さんがタッグを組むことで、たとえば顧客からの最初の仕事が名刺の注文であっても、それをきっかけにプロモーションビデオの制作を提案することも可能なのだ。「ニーズよりもウオント。顧客に求められていることに応えながら、何が顧客のためになるのかを考え、

デザイン★スタジオ いんすばいあ

〒010-0951 秋田市山王三丁目一番一号
県庁第二庁舎3階A-4
Tel.090-7339-8428 Fax.018-865-8365
<http://www.inspai.jp/>
E-mail yt-saito@cna.ne.jp



創業後に手がけた制作物の一例(写真上)
代表の斉藤武史さん。デザイナーとしての実績はあるが
経営者としては“修行中”とか(写真下)

提案していきたいと思います」(斉藤さん)

もう一つの強みが幅広いネットワーク。東京、仙台、盛岡のイラストレーターやコピーライターなどともつながりがあり、秋田単独ではなし得ないようなクオリティの高い提案を顧客に提供できるのだ。

コンサルタントの指導を受けて「いんすばいあ」が打ち出したキーワードが「コラボレーション」。実兄とのコラボ、各地のクリエイターとのコラボ、制作実務と企画提案のコラボなど、複合的、重層的に企業の力になれるデザイン事務所を目指している。



今は小さな事務所だが、いずれは母校の秋田公立美術工芸短期大学の後輩をスタッフに迎えるのが夢